

いのちが おまへに あつち

産前産後の 自死・自殺対策とは何か

妊娠、出産。それは人生の中でも、
とても大きな変化です。

嬉しいだけじゃない。

戸惑ったってあたりまえ。

悩むことも苦しいこともきっとある。

でも、一人じゃないと知ってほしい。

そして、力になりたいと思っている

私たちがいることも。

一般社団法人

京都府臨床心理士会主催

自殺対策シンポジウム

参加無料・申込不要 ● 定員100名

日時

2018年3月25日(日)

13:30～16:30(開場 13:00)

場所

京都府民総合交流プラザ

京都テルサ

東館3階B・C会議室(京都市南区)

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地
<アクセス>裏面のアクセスマップをご覧ください。

基調講演

産前産後のメンタルヘルスと 心理臨床

橋本 洋子 氏

山王教育研究所/周産期心理士ネットワーク代表/臨床心理士



聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院にて周産期センター専属の臨床心理士として赤ちゃん和家人のケアに携わる。周産期心理士の草分けとして活動し、現在は、山王教育研究所において周産期領域を含む心理療法を行っている。著書『NICUとこころのケア—家族のこころによりそって』、『カンガルーケア：ぬくもりの子育て 小さな赤ちゃん和家人のスタート』(共編)、『赤ちゃんの死を前にして』(共著)

パネルディスカッション

●パネリスト

周産期医療におけるメンタルヘルスケアの 実際と課題

宮田 郁 | 大阪医科大学附属病院看護部 リエゾン精神看護専門看護師

大阪医科大学附属病院でのリエゾン精神看護専門看護師として院内を横断的に実践、チーム医療の調整を中心に活動をしている。複雑性悲嘆とトラウマケア、緩和ケア、周産期メンタルヘルスがサブスペシャリティであり、自殺予防にも取り組んでいる。

周産期支援の実践とこれから

京都府久御山町子育て支援課

久御山町では、妊娠期から子育て期、就学後も継続して関わりあえる仕組みをつくることで、安心して子育てができる環境づくりを目指している。また、『くみやま妊産婦子育ておうえん事業』や『パパ&ママ教室』を通して、妊産婦への支援の充実を進めている。

●座長

大山 泰宏 | (一社)京都府臨床心理士会会長/放送大学教授/臨床心理士

主催: 一般社団法人 京都府臨床心理士会

後援: 京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会
(順不同、予定団体含む)

助成: 京都府自殺対策事業補助金

お問合せ: 180325sympo@kyoto-accp.jp

(一般社団法人 京都府臨床心理士会 自殺対策シンポジウム担当)